

中吉田同和地区集会所解体工事

上田市都市建設部建築課

中吉田同和地区集会所解体工事 特記仕様書

I 解体工事概要

1. 工事場所 上田市 芳田2220-4番地

2. 敷地面積 (m²) 276.00m²

3. 除却対象物 建築物 ○工作物 建築設備・家具等・樹木・その他

除去対象建物等	種別	構造	階数	梁間 (m)	桁行 (m)	建築面積 (m ²)	延面積 (m ²)
集会場	集会場	木造	平屋			70.14	70.14

II 解体工事仕様

1. 共通仕様

(1) 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、全て国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築物解体工事共通仕様書(最新版)」(以下、「解体共仕」という)により、解体共仕に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(最新版)」(以下「基準」という)及び「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)(最新版)」(以下、「改修仕様」という)による。

2. 特記仕様

(1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。

(2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。

○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。

・印と○印の付いた場合は、共に適用する。

(3) 特記事項に記載の()内の表示番号は、解体共仕の当該項目を示す。

章	項目	特記事項
一般共通事項	① 適用基準等	※ 工事写真の撮り方(改訂第三版)建築編 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 ※ 建築物解体工事共通仕様書、同解説 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修(最新版) ※ 公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編) 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修(最新版) ※ 建築工事公害防護対策要綱(建築工事編) 建設省建設経済局建設業課、住宅局建築指導課監修 ※ 建設副産物正処理基準要綱(以下「推進要綱」という) ※ 長野県建設リサイクル推進指針
	② 電気保安技術者	※ 適用する・適用しない (1.3.3)
	施工条件明示項目	※ 施工説明書による (1.3.5)
	4. 引渡しを要するもの	※ 引渡しを要するもの (1.3.10)
⑤ 解体工事施工技士		本工事を適切に施工管理するため、解体工事施工技士の配置を行うこと。

仮設工事	① 足場その他	足場を設ける場合、「手すり先行工法に関するガイドライン」について(厚生労働省、平成21年4月)の「手すり先行工法に関するガイドライン」によるものとし、足場の組立、解体、変更の作業時及び使用時には、常時すべての作業床について手すり、中さん及び幅木の機能を有するものを設置しなければならない。 なお、設置においては、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における20の(2)手すり設置方法又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。 騒音・粉塵等の対策 ※ 防音バネル ○ 防音シート・養生シート
	② 騒音・粉塵等の対策	既存建物内一部を使用する・構内に設置する ※ 許可ない
	③ 監督員事務所	既存建物内一部を使用する・構内に設置する ※ 許可ない (2.3.1)
	④ 工事用水	構内既存の施設 ※ 利用できない・利用できる(※ 有償・無償)
	⑤ 工事用電力	構内既存の施設 ※ 利用できない・利用できる(※ 有償・無償)

⑥ 前置措置	機械設備及び電気設備の切替・遮断等 請負者が同工事の許可者でない場合は、監督職員と協議の上、同工事の許可を取得している業者に委託する。 油類・油シング
	解体に先立ち、燃料配管、燃料槽、燃料小出槽等に残油がないことを確認する。必要に応じて残油を抜き取り、燃料を土壤に流失させないように注意する。燃料槽、燃料小出槽は、洗浄のうえ中和処理を行う。空調設備等の凍結 ・冷媒を室外機にポンプダウンした後撤去を行う機器は下記による。 図面番号 記号
	・冷媒を回収した後撤去を行う機器は下記による。 図面番号 記号
	浄化槽、排水槽等 解体に先立ち、汚水及び汚物は、回収、洗浄、消毒等の措置を行い、異臭の発生並びに周囲及び地中への汚染を防止する。
2. 机の解体	机の解体工法 ・引抜き工法・破碎による解体 (3.9.2)

3. 樹木等	樹木の伐採伐根及び移植 (3.10.1)
	電柱の撤去・行う(・図示・) ○ 行わない (3.11.1)
	外灯の撤去・行う(・図示・) ○ 行わない
4. 地下埋設物・理設配管	
5. 屋外設備等	

① 解体後の整地	解体後の埋戻し及び盛土 ※ 行う ・現状剥し及び盛土の材料 ・砂の類・他現場の建設発生土の中の良質土・再生コンクリート砂 埋戻し及び盛土に当たっては、各層30cm程度毎に締め固めること。 ・行わない		(3.12.1)	3. POBを含む機器類	種類、位置 ・現場説明書による※ 図示 機器類は適切な容器に納め、工事完了後、調査と共に監督職員に引き渡す。		(5.4.1)	6. 石綿含有仕上塗材の除去	除去範囲 ※ 図示 着工前の試験工法 ※ 行う・行わない		(6.6.1)
					機器類 撤去方法 ※ 標準施工手順書(日本シーリング工事業協同組合連合会/日本シーリング材工業会)		(5.4.1)		※ 集じん装置付き吹用工具ケレン工法 ・集じん装置付き吹用工具ケレン工法 ・集じん装置付き高圧水洗工法(15MPa以下、30~50MPa) ・集じん装置付き超音波洗浄工法(100MPa以上) ・剥離剤用超音波ケレン工法 ・剥離剤用工具ケレン工法 ・剥離剤用高圧水洗工法(30~50MPa) ・剥離剤用超音波洗浄工法(100MPa以上) ・超音波ケレン工法(HEPAフィルター付掃除機併用)		(6.6.1)
1. 一般事項	本工事は「建設副産物情報交換システム」を活用する。 総合施工作成時、工事完了時及び最終情報に変更が生じた場合、速やかに当該システムにデータ入力を行う。また、同システムにより工事着手時に再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を工事完了時に同計画書の実施報告書(書式は別)を作成し、監督職員に提出するものとする。		(4.4.1)	4. POB含有シーリング材	シーリング材 撤去範囲 ※ 分析による石綿含有建材の調査 分析対象 ・アモサイト、クリソタイル、クロシドライト、アクチノライト、アンソフィライト、トレモライト 分析方法 ※ JIS A 1481-2(建材製品中のアスベスト含有率測定法-第2部:試料採取及びアスベスト含有の含有の有無を判定する方法) ・JIS A 1481-3(建材製品中のアスベスト含有率測定法-第3部:アスベスト含有率のX線回折定量分析法)		(5.4.1)	6. 石綿含有仕上塗材の除去	除去範囲 ※ 図示 着工前の試験工法 ※ 行う・行わない		(6.6.1)
2. 石綿含有建材の除去	建設廃棄物の種類 中間処理施設、資源化施設等 ※ 監督員の承諾する施設・現場説明書による		(4.4.1)	6.1. 石綿含有分析調査	※ 石綿含有建材の事前調査 工事着手に先立ち、目視及び貸与する設計図書等によりアスベストを含有している吹き付け材、成形材、建築材料等の使用の有無について調査し、監督職員に報告する。 調査範囲 ・ 図示 貸与資料 ※ 分析による石綿含有建材の調査 分析対象 ・アモサイト、クリソタイル、クロシドライト、アクチノライト、アンソフィライト、トレモライト 分析方法 ※ JIS A 1481-2(建材製品中のアスベスト含有率測定法-第2部:試料採取及びアスベスト含有の含有の有無を判定する方法) ・JIS A 1481-3(建材製品中のアスベスト含有率測定法-第3部:アスベスト含有率のX線回折定量分析法)		(5.4.1)	6. 石綿含有仕上塗材の除去	除去範囲 ※ 図示 着工前の試験工法 ※ 行う・行わない		(6.6.1)
3. 再資源化等	建設廃棄物の種類 中間処理施設、資源化施設等 ※ 監督員の承諾する施設・現場説明書による		(4.4.1)	6.2. 石綿含有分析調査	※ 石綿含有建材の事前調査 工事着手に先立ち、目視及び貸与する設計図書等によりアスベストを含有している吹き付け材、成形材、建築材料等の使用の有無について調査し、監督職員に報告する。 調査範囲 ・ 図示 貸与資料 ※ 分析による石綿含有建材の調査 分析対象 ・アモサイト、クリソタイル、クロシドライト、アクチノライト、アンソフィライト、トレモライト 分析方法 ※ JIS A 1481-2(建材製品中のアスベスト含有率測定法-第2部:試料採取及びアスベスト含有の含有の有無を判定する方法) ・JIS A 1481-3(建材製品中のアスベスト含有率測定法-第3部:アスベスト含有率のX線回折定量分析法)		(5.4.1)	6. 石綿含有仕上塗材の除去	除去範囲 ※ 図示 着工前の試験工法 ※ 行う・行わない		(6.6.1)
4. 産業廃棄物処理	建設廃棄物の種類 中間処理施設、資源化施設等 ※ 監督員の承諾する施設・現場説明書による		(4.4.1)	6.3. 石綿含有分析調査	※ 石綿含有建材の事前調査 工事着手に先立ち、目視及び貸与する設計図書等によりアスベストを含有している吹き付け材、成形材、建築材料等の使用の有無について調査し、監督職員に報告する。 調査範囲 ・ 図示 貸与資料 ※ 分析による石綿含有建材の調査 分析対象 ・アモサイト、クリソタイル、クロシドライト、アクチノライト、アンソフィライト、トレモライト 分析方法 ※ JIS A 1481-2(建材製品中のアスベスト含有率測定法-第2部:試料採取及びアスベスト含有の含有の有無を判定する方法) ・JIS A 1481-3(建材製品中のアスベスト含有率測定法-第3部:アスベスト含有率のX線回折定量分析法)		(5.4.1)	6. 石綿含有仕上塗材の除去	除去範囲 ※ 図示 着工前の試験工法 ※ 行う・行わない		(6.6.1)
5. 特別管理産業廃棄物等の処理等	建設廃棄物の種類 中間処理施設、資源化施設等 ※ 監督員の承諾する施設・現場説明書による		(4.4.1)	6.4. 石綿含有分析調査	※ 石綿含有建材の事前調査 工事着手に先立ち、目視及び貸与する設計図書等によりアスベストを含有している吹き付け材、成形材、建築材料等の使用の有無について調査し、監督職員に報告する。 調査範囲 ・ 図示 貸与資料 ※ 分析による石綿含有建材の調査 分析対象 ・アモサイト、クリソタイル、クロシドライト、アクチノライト、アンソフィライト、トレモライト 分析方法 ※ JIS A 1481-2(建材製品中のアスベスト含有率測定法-第2部:試料採取及びアスベスト含有の含有の有無を判定する方法) ・JIS A 1481-3(建材製品中のアスベスト含有率測定法-第3部:アスベスト含有率のX線回折定量分析法)		(5.4.1)	6. 石綿含有仕上塗材の除去	除去範囲 ※ 図示 着工前の試験工法 ※ 行う・行わない		(6.6.1)
6. 特殊な建設廃棄物の処理	建設廃棄物の種類 中間処理施設、資源化施設等 ※ 監督員の承諾する施設・現場説明書による		(4.4.1)	6.5. 石綿含有分析調査	※ 石綿含有建材の事前調査 工事着手に先立ち、目視及び貸与する設計図書等によりアスベストを含有している吹き付け材、成形材、建築材料等の使用の有無について調査し、監督職員に報告する。 調査範囲 ・ 図示 貸与資料 ※ 分析による石綿含有建材の調査 分析対象 ・アモサイト、クリソタイル、クロシドライト、アクチノライト、アンソフィライト、トレモライト 分析方法 ※ JIS A 1481-2(建材製品中のアスベスト含有率測定法-第2部:試料採取及びアスベスト含有の含有の有無を判定する方法) ・JIS A 1481-3(建材製品中のアスベスト含有率測定法-第3部:アスベスト含有率のX線回折定量分析法)		(5.4.1)	6. 石綿含有仕上塗材の除去	除去範囲 ※ 図示 着工前の試験工法 ※ 行う・行わない		(6.6.1)
7. 特殊な建設廃棄物の処理	建設廃棄物の種類 中間処理施設、資源化施設等 ※ 監督員の承諾する施設・現場説明書による		(4.4.1)	6.6. 石綿含有分析調査	※ 石綿含有建材の事前調査<br						

■ 建築概要

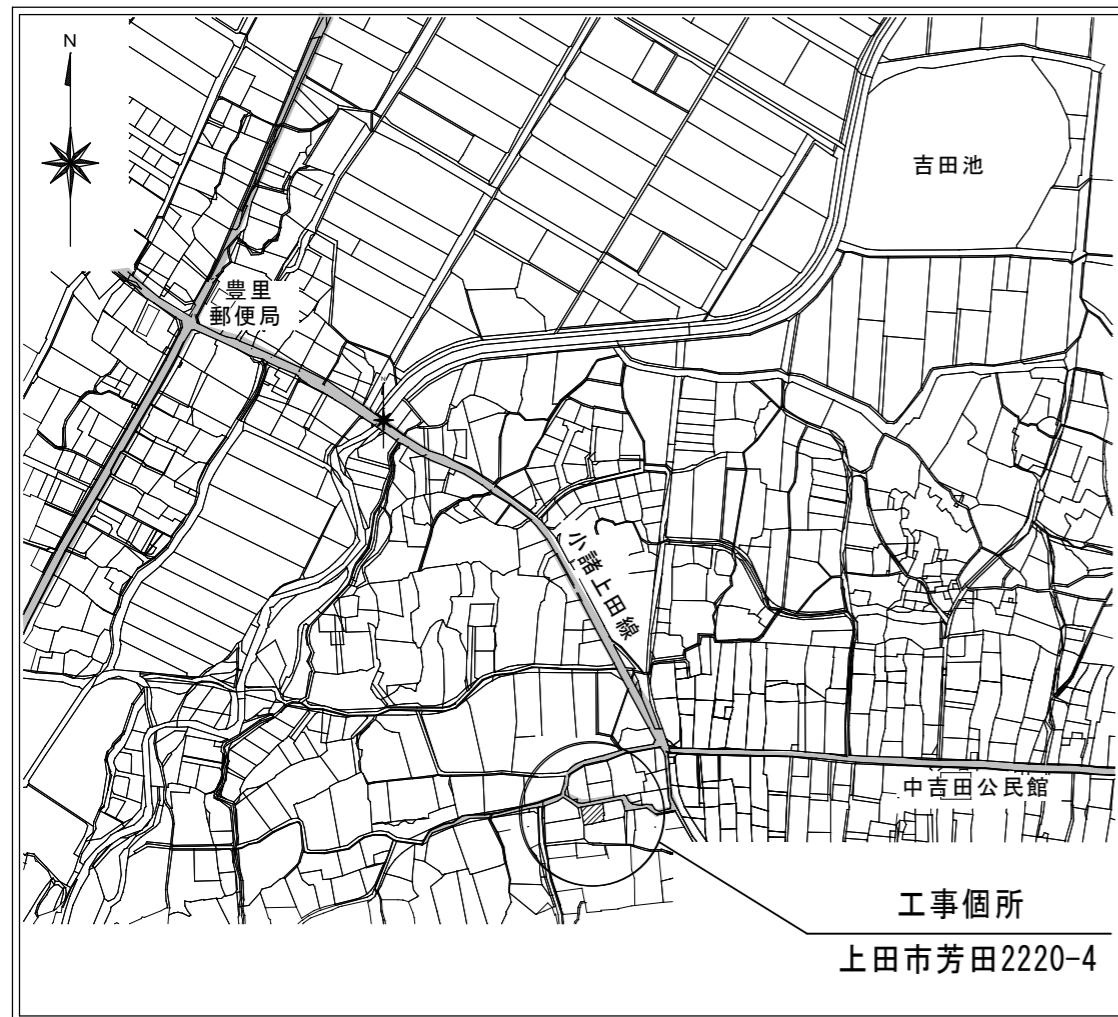
工事名称	中吉田同和地区集会所解体工事		
建物名称	中吉田同和地区集会所		
建物所在地	上田市芳田2220番4		
主要用途	集会所	工事種別	解体
構造・階数	木造・平屋	建設年度	昭和51年
建築面積 床面積	70.14m ²		
外構物（撤去）	U字型側溝（U150程度*31m）、鉄棒（L=1.6m*3）		
	雨水排水管・管（VP100*30m）、給水管（6m）		
	便槽（300ℓ）		
外構物（残地）	フェンス（H=1.1m）、擁壁（H=500）、植栽（H=2.0m程度）		
	アスファルト舗装（t=40、122m ² ）		

■ 特記事項

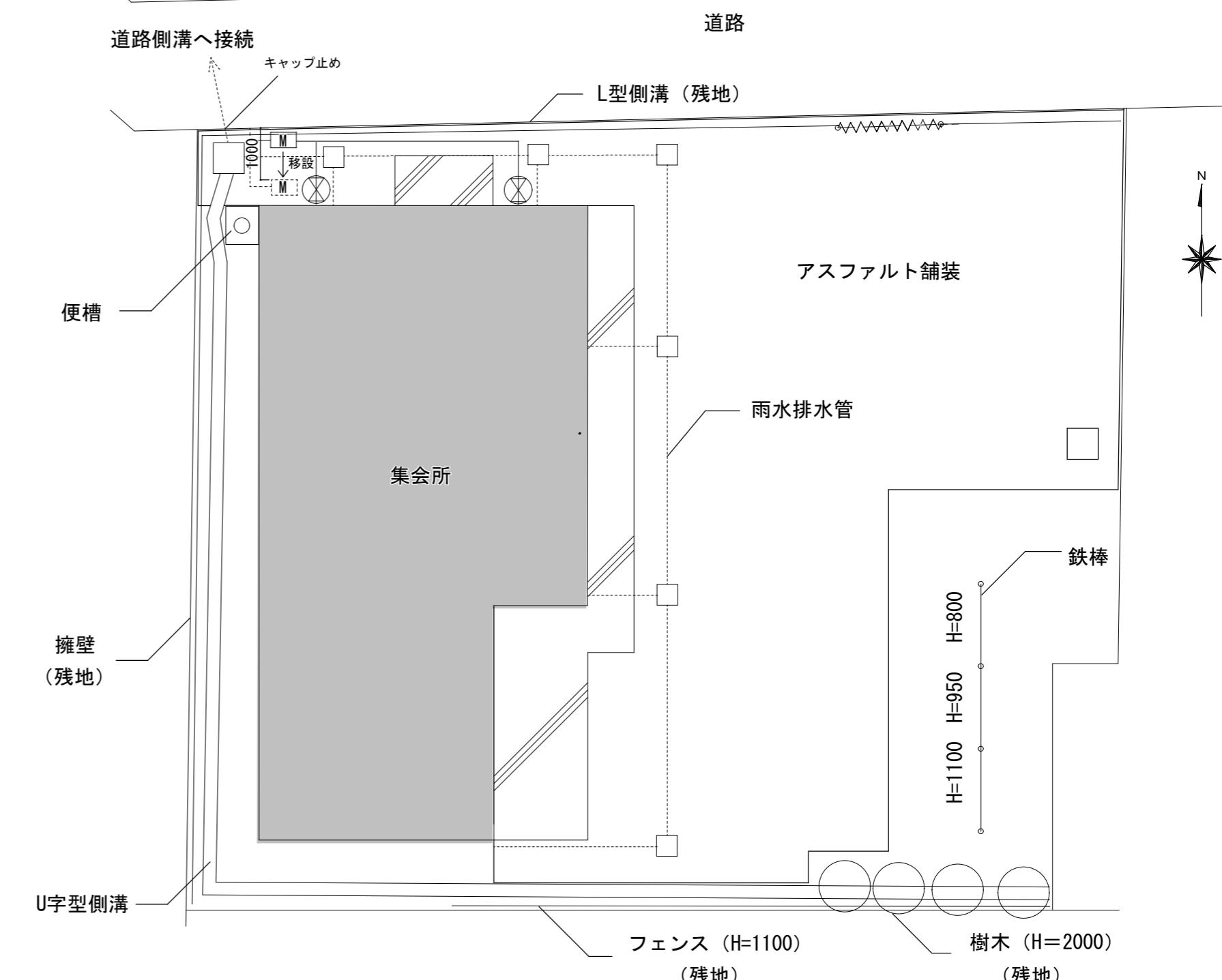
基礎については全て撤去とする。
埋め戻し部は十分な転圧を行い、敷地全体を現況GLに合わせ整地すること。
雨水マス・排水管は全て撤去とし、道路側溝へ流出がないようキャップ止めとする。
給水管は、メーター手前でプラグ止めとし、給水メーター・ボックス類は1m程度移設とする。

■ 注意事項

近隣への騒音、振動、粉塵等について配慮した施工を行うこと
近隣道路の一般人の通行及び工事車両の出入時の安全に十分注意を払うこと
工事により発生した廃棄物の処理は、法律に基づき適切に処理すること
不明な点は係員と打合せの上施工すること

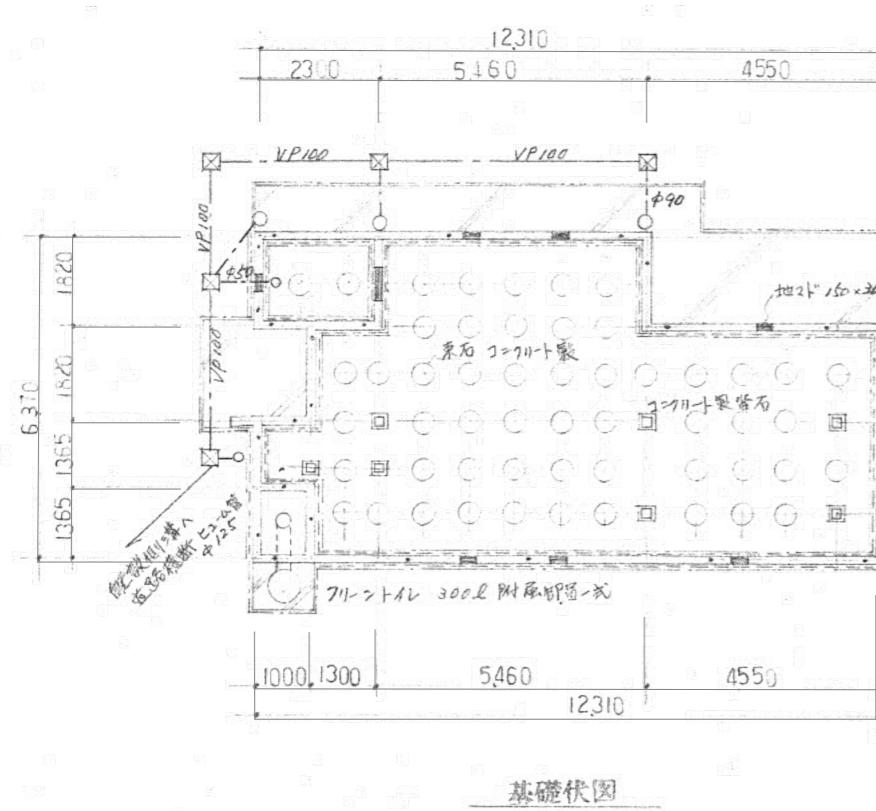


案内図

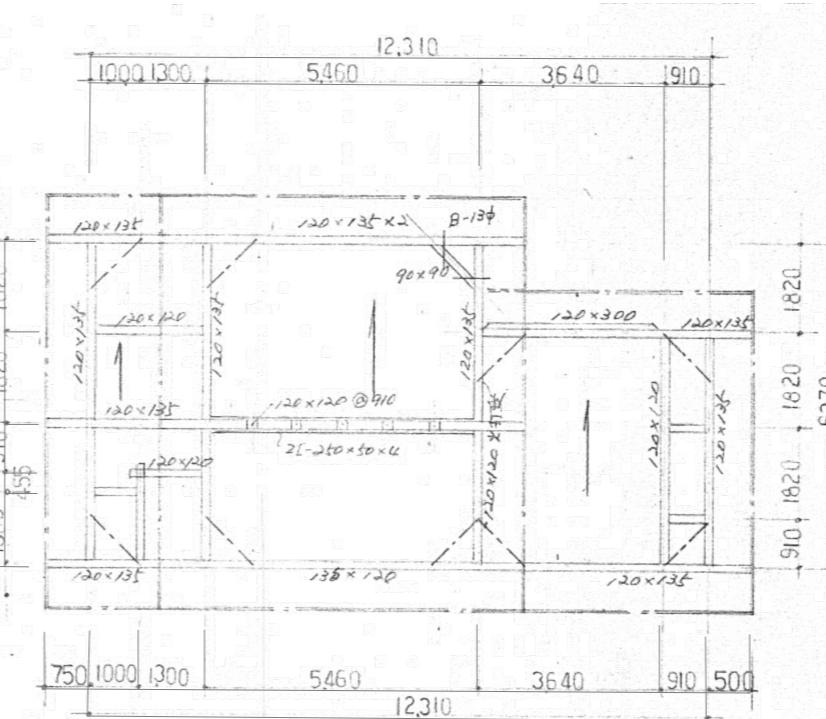


配置図 1 / 100





基礎伏園



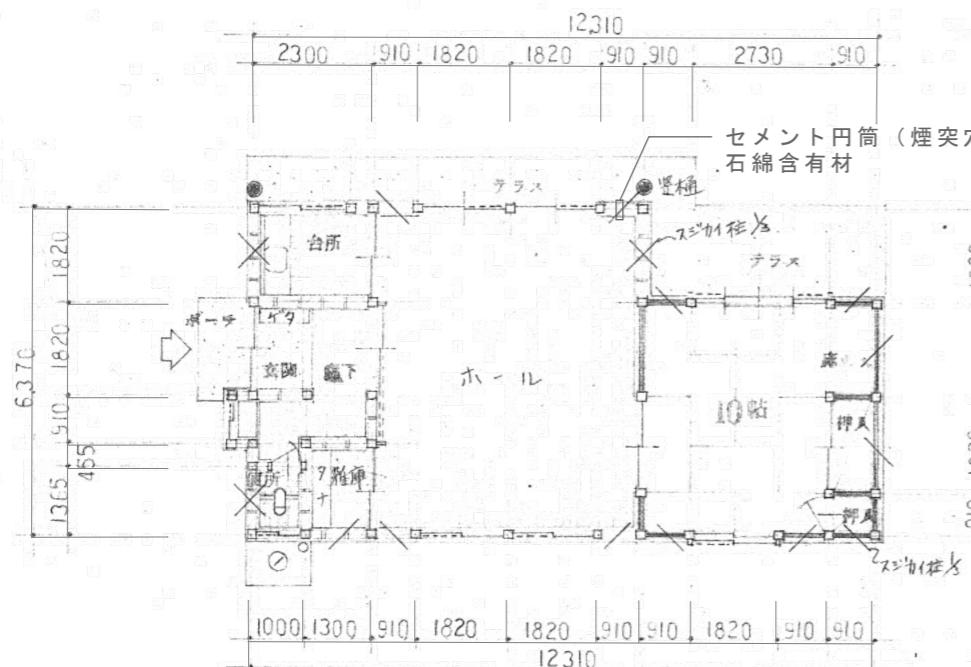
小屋伏臥

A	吸音石膏ボード 大=9 敷目貼 V.P	※2
B	化粧石膏ボード 大=9	※2
C	石膏ボード 大=9 敷目貼 V.P	※2
D	化粧ボード(ビニール系) 1張	※2
E	吉野天井板(化粧石膏ボード) 大=9 敷目貼 枠垂	※2
F	石膏ボード 大=9 貼合	※2
G	吉野天井板(化粧石膏ボード) 大=9 枠杠	※2
H	フレキシブルボード 大=4 敷目貼 O.P	※1
I	有孔フレキシブルボード 大=4 敷目貼 O.P	※1
J	スレートボード t=6	※1
天井検査口	□ アルミ枠 450×450	

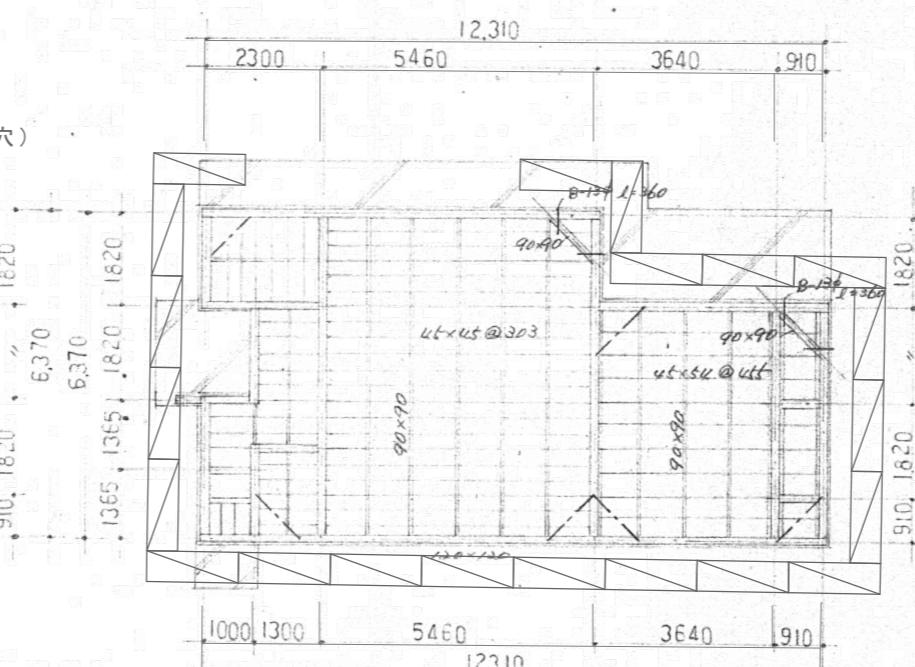
※1 石綿含有建材（レベル3）

ケイ酸カルシウム板またはスレートボード 混在

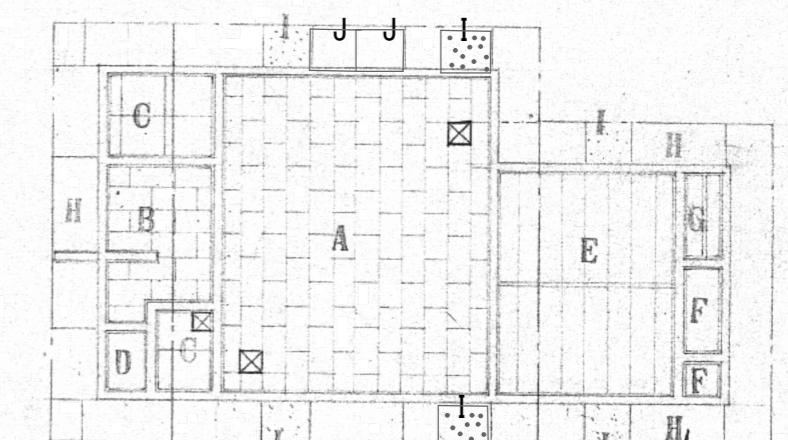
※2 分析の結果 石綿含有 無し



平面圖



床伏



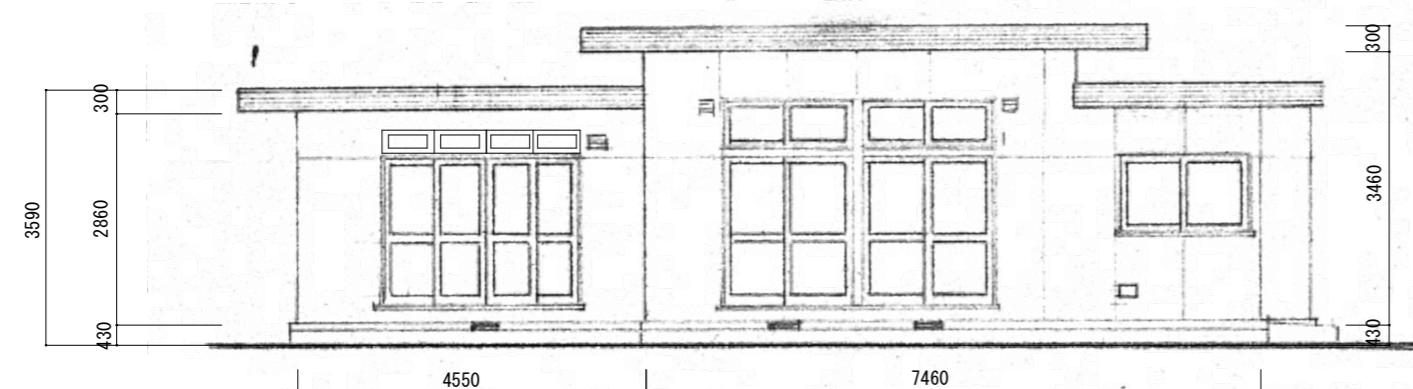
天井伏圖

基盤	見付掛リモルタル刷毛引 行引 モルタル金ゴマ目地切
壁	モルタルモルタル下地 チクチクセメント吹付 一部鉄骨石貼 ※1
屋根	カツイチロングルーフ 600×140 (太さ5cm) カラー 斜流造
破風、算額	加工鉄板 カラー ハロドル塗装
軒裏	フレキシブルボード太さ4mm敷目貼 O.P. 一部有孔フレキシブルボード貼 ※2
樋	軒樋120×100角型 壁樋至水内型 カラー鉄板 #28
建具	アルミサッシ(住室用、及びビルタイプ)、全部アミ戸取付 (ホール)
排水	回流により在来側溝まで
塗装	見付掛リモルタル O.P. 室
煙突	石綿含有建材(レベル3) セメント円筒

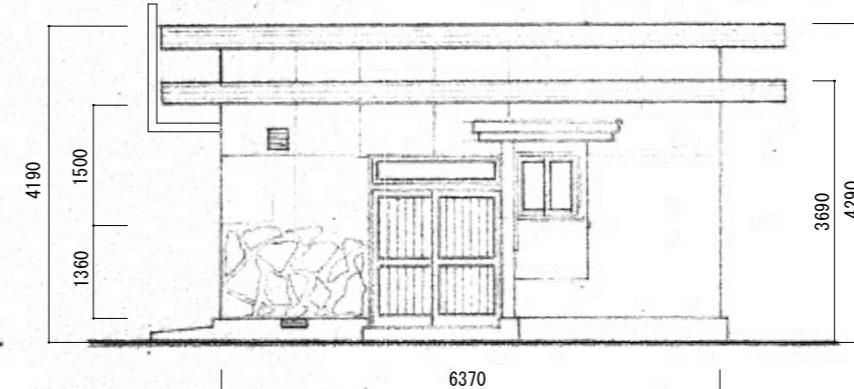
室名	仕上	床	壁	天井	其の他	※1 石綿含有材(レベル3) モルタル
玄関	モザイクタイル貼	※3	744×114mm太さ5.5mm	仕面石膏ボード太さ9mm	下駄箱	※2 石綿含有材(レベル3) ケイ酸カルシウム板またはスレートボード 混在
廊下	本床フローリング太さ12mm	全	上	全	上	※3 石綿含有材(レベル3) 床・巾木部の下地モルタル
便所	全	上	全	上	化粧ボーダー(モール系)貼	クーラーボックス300L排水便器付 手洗場ステンレス板
雜庫	全	上	全	上	石膏ボード太さ9mm VP	7+2段 美模口
ホール	全	上	全	上	吸音石膏ボード太さ9mm VP	L=27- 44所 (280×200)
和室	タタミ(ハリ付)	行ボーダー下地2層	1層	吉野天井板太さ9mm敷目板	L=27- 24所 (200×200)	
台所	本床フローリング太さ12mm	石膏ボード太さ9mm敷目 VP	石膏ボード太さ9mm敷目 VP	換気扇中200mm換気レバ7(350×300) 公園型ガラシ		
押入	ラバーベード太さ5.5mm (T)	セメントモルタル	石膏ボード太さ9mm	美模口		
トコ	船木	ラバーベード太さ5.5mm	吉野天井板太さ9mm	吸音石膏		

内部仕上 壁

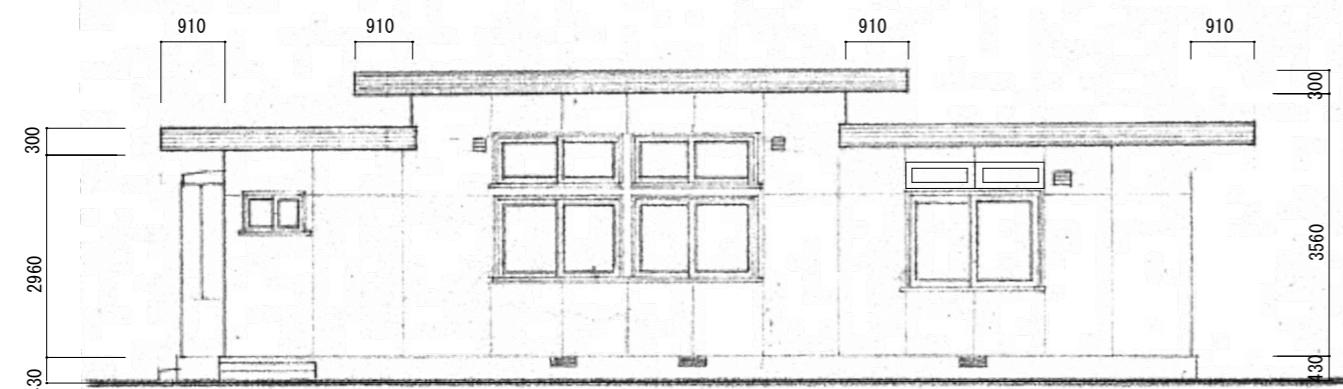
建具 障子門は板貼共 重宝金物開成一式として見本にて規定有る。



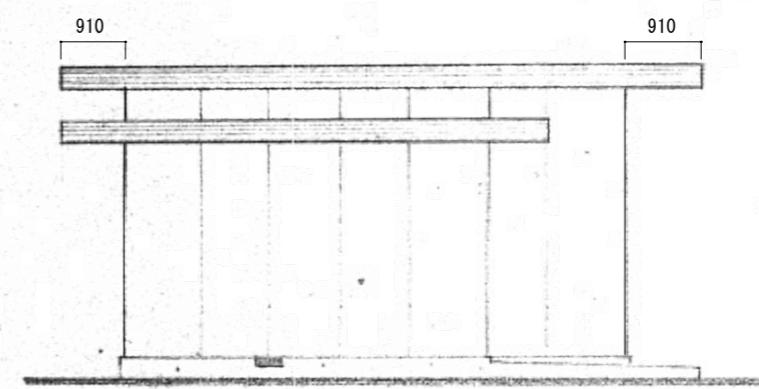
東側立面図



北側立面図



西側立面図



南側立面図

